





2002年12月

第 3.0 版



第1章 はじめに	
● ● (1-1) 製品概要	1- 1
(1-2) 添付品	1-2
(1-3) ハードウェア仕様	1-3
(1-3-1) コネクタピンアサイン	1-3
(1-3-2) レジスタセット	1-4
年 2 音 Windows 05/00/Ma セットマップ	2 1
东 Z 早 Windows95/96/M6 セットアック (2-1) DC_AT での Windows05 キットアップ	2-1
(2-1) FC-AT CO Windows55 ビット) シン (2-2) BC-09 だの Windows65 セットアップ	2- 1
(2-2)FC-96 CO Windows95 セットアック (2-2)Windows00 セットモップ	2- 1
(2-3) Windows50 ビットアック	2-14
(2=4) WINDOWSINE セットアッフ (2=5) DS2220 DC カードの動作で認知	2-17
(2-5) RS2320 PC ガートの動作症認 (2-6) アンノンフトール 士社	2-20
(2-7) / ノイノストール 万法 (2-7) Visual C /C++ サンゴル プログラノ	2-21
(z=7) Visual 6/6++ リンフルフロクラム	2-22
第3章 Windows2000/XP セットアップ	
(3–1) Windows2000 セットアップ	3- 1
(3–2)WindowsXP セットアップ	3-3
(3-3) 通信ポート番号の確認	3- 5
<i>(3−4)PC カード設定内容の確認</i>	3-6
<i>(3−5)COMポート番号の変更</i>	3-7
(3-6)アンインストール方法	3-8
筆 A 音 WindowsNTA0/こついて	4 - 1
(4-1) WindowsNT40での使用方法	4-2
	7 2
第5章 Windows CE について	5- 1
(5-1) WindowsCE での使用方法	5- 1
※ MS-DOS/Windows3.1 で使用されるお客様は、添付 FD 0)PDF ファ
イルをご参照ください。	



(1-1) 製品概要

REX-5056V は、PC CARD STANDARD TYPE 規格に準拠した RS232C PC カード です。シリアルコントローラに 16550 互換 UART を搭載しています。

本製品には MS-DOS 用マルチポート通信ドライバー(以下 MCD と記述)と MCD API ライブラリが添付されています。DOS/Vのみでなく、PC-98 環境でも RS232C PC カードを使った通信アプリケーションの構築をサポート致しました。

Windows では DOS/V・PC-98 共に、OS に標準で組み込まれている通信ポート ドライバをお使いください。

項目	内容
入出カレベル	RS232C レベル
入出カポート数	1 ポート
シリアルコントローラ	16550 互換 UART
通信方式	非同期通信
通信速度	300/600/1,200/2,400/4,800/9,600/19,200/38,400/
	57,600/115,200 bps
	注意 🕈 実際に実行可能な最大通信速度はパソコンの仕様
	に依存します。
伝送距離	15m 以内
消費電流·消費電力	130mA(平均)•650mW
通信パラメータ	➡ ビット長:7/8 ➡ スタートビット:1
	➡ ストップビット:1/1.5/2 ➡ パリティ:偶数/奇数/無し
入出カコネクタ	JIS X 5101 規格 D-SUB9PIN RS232C コネクタオス型
	ケーブル長 : 約 50 cm
	(参考)
	PCカード側コネクタ:NX-15Pヒロセ電機製相当品使用

□ *ソフトウェア仕様*

項目	内容
カードサービス版イネーブラ	DOS/V版・PC-98版
ポイントイネーブラ	DOS/V 版
MCD 通信ドライバ	DOS/V版・PC-98版
MS-DOS 用 MCD 通信ライブラリ	DOS/V・PC-98版(Microsoft Visual C対応)

(1-2) 添付品

製品には PC カードと下記添付品が添付されています。ご使用前にご確認願います。

☑コネクタケーブル(D-SUB9PIN オス型)

☑ドライバー・ライブラリディスク 1.44MB 3.5 "

☑ユーザーズマニュアル

☑ご愛用者登録はがき・保証書





(1-3) ハードウェア仕様

(1-3-1) コネクタピンアサイン 各信号のコネクタピンアサイン 及び機能は下表のようになります。 コネクタは OADG 仕様で定められて いる D-SUB9PIN を採用しました。

12345

D-SUB9PIN オス型

ピン番	信号名	略称	DTE一外部	説明
1	Data Carrier Detect (DCD)	キャリア検出	¢	キャリア検出の通知
2	Receive Data (RD)	受信データ	4	データの受信
3	Transmit Data (TD)	送信データ	⇒	データの送信
4	Data Terminal Ready (DTR)	端末レディ	⇒	使用可能であることを通知
5	Signal Ground (SG)	信号用接地	_	SD/RD 共通のアース
6	Data Set Ready (DSR)	データセットレディ	\$	使用可能であることを通知
7	Request to Send (RS)	送信要求	⇒	送信の停止・再開の要求
8	Clear to Send (CS)	送信許可	\$	受信の停止・再開の通知
9	Ring Indicate (RI)	被呼表示	4	着信の通知

△ D-SUB25PIN への変換について △

製品添付ケーブルは D-SUB9PIN コネクタですので D-SUB25PIN に変換したい場合には、下記の変換表に基づいた変換コネクタをご使用ください。 変換コネクタは、一般の量販店やパソコンショップで入手可能です。

D-SUB9PIN		D-SUB25PIN
ピン番号		ピン番号
1	$ \longrightarrow $	8
2	\leftarrow	3
3	$ \longrightarrow $	2
4	\leftarrow	20
5	\leftarrow	7
6	$ \longrightarrow $	6
7	$ \longrightarrow $	4
8	\leftarrow	5
9	$ \longrightarrow $	22

(1-3-2) レジスタセット

シリアルコントローラは 16550 互換 UART が搭載されています。レジスタセット一覧表を下に示します。なお、詳細につきましては、 NS16550 等のデー タシートを参照してください。

Bit	Register Address											
No	0 DLAB=0	0 DLAB=0	1 DLAB=0	2	2	3	4	5	6	7	0 DLAB=1	1 DLAB=1
	Receiver	Transmitte	Interrupt	Interrupt	FIFO	Line	MODEM	Line	MODEM	Scratch	Divisor	Divisor
	Buffer	r	Enable	Ident.	Control	Control	Control	Status	Status	Pad	Latch	Latch
	Register R Only	Holding Register W Only	Register	Register R Only	Register W Only	Register	Register	Register	Register	Register	(LSB)	(MSB)
	RBR	THR	IER	lir	FCR	LCR	MCR	LSR	MSR	SCR	DLL	DLM
0	Data	Data	Enable	"0" if	FIFO	Word	Data	Data	Delta	Bit 0	Bit 0	Bit 8
	Bit 0 注 1)	Bit 0	Received Data Available Interrupt (ERBFI)	Interrupt Pending	Enable	Length Select Bit 0 (WLS0)	Terminal Ready (DTR)	Ready (DR)	Clear to Send (DCTS)			
1	Data Bit1	Data Bit1	Enable Transmitte r Holding Register Interrupt Empty (ETBEI)	Interrupt ID Bit 0	RCVR FIFO Reset	Word Length Select Bit 1 (WLS1)	Request to Send (RTS)	Overrun Error (OE)	Delta Data Set Ready (DDSR)	Bit 1	Bit 1	Bit 9
2	Data Bit2	Data Bit2	Enable Receiver Line Status Interrupt (ELSI)	Interrupt ID Bit 1	XMIT FIFO Reset	Number of Stop Bits (STB)	Out 1	Parity Error (PE)	Trailing Edge Ring Indicator (TERI)	Bit 2	Bit 2	Bit 10
3	Data Bit3	Data Bit3	Enable MODEM Status Interrupt (EDSSI)	Interrupt ID Bit 2 注 2)	DMA Mode Select	Parity Enable (PEN)	Out 2	Framing Error (FE)	Delta Data Carrier Detect (DDCD)	Bit 3	Bit 3	Bit 11
4	Data Bit4	Data Bit4	0	0	Reserved	Even Parity Select (ESP)	Loop	Break Interrupt (BI)	Clear to Send (CTS)	Bit 4	Bit 4	Bit 12
5	Data Bit5	Data Bit5	0	0	Reserved	Stick Parity	0	Transmitte r Holding Register (THRE)	Data Set Ready (DSR)	Bit 5	Bit 5	Bit 13
6	Data Bit6	Data Bit6	0	FIFOs Enabled 注2)	RCVR Trigger (LSB)	Set Break	0	Transmitte r Empty (TEMT)	Ring Indicator (RI)	Bit 6	Bit 6	Bit 14
7	Data Bit7	Data Bit7	0	FIFOs Enabled 注2)	RCVR Trigger (MSB)	Divisor Latch Access Bit (DLAB)	0	Error in RCVR FIFO 注 2)	Data Carrier Detect (DCD)	Bit 7	Bit 7	Bit 15

注1)ビット0は最下位のビットです。最初にこのビットからシリアル送信または受信が行われます。



Windows95 OSR-2^(注 1)のリリースにより現在 Windows95 のバージョンには、 Windows95 OSR-2 と OSR-2 以前のバージョンがあります。「マイコンピュータ」 を右クリックし「プロパティ」情報を表示することによりどちらのバージョン がインストールされているか調べることができます。システム情報が 「Microsoft Windows95 4.00.950 a」の場合は OSR-2 以前のバージョンになり、 OSR-2 の場合は「Microsoft Windows95 4.00.950 B」となります。ご利用の Windows95 が OSR-2 かそれ以前のバージョンかによりインストールの方法が異 なりますので注意してください。

(注1) OSR-2(OEM Service Release 2)では FAT32、CardBus 等の新しい機能 がサポートされています。

(2-1) PC-AT での Windows95 セットアップ

Windows95 OSR-2 でのインストール方法

【1】PC カードの挿入

PC カードをスロットに 挿入すると、ハードウェ アウィザードが起動しま す。これに連動してデバ イスドライバーウィザー ドが起しドライバーの インストールをすること インストールすることが できれい。取りあえず 「次へ」を選択します。

 デバイスドライバ ウィザード

 このウィザードで、次のイソストールができます。

 RATOC-REX5056V RS232C PC Card

 最新のドライバをローカルドライブ、ネットワークあよごメインターネットから検出します。

 このデバイスに付属のフロッビーディスクまたは CD-ROM がある場合

 は挿入してください。

 更新されたドライバを自動的に検出することをお勧めします。 「次

 マグラウィック ちょうとをお勧めします。 「次

 く 戻る(的)
 次へ>

更に、「このデバイス 用のドライバが見つかり ませんでした」という結 果が表示されますが、こ こではインストールしま せんので「完了」を選択 します。



【2】通信ドライバのインストール

コントロールパネルのシステムの中のデバイスマネージャタグを開きます。 その他のデバイスとして登録された「RATOC-REX5056V RS232C PC Card」のプロ パティを表示します。

ንステムのプロバティ ? 🎗
「情報」 デバイス マネージャ ハートウェア環境 ハフォーマンス
 ● 種類リに表示(①) ● 接続別に表示(②)
 PCMCIA ソケット PCMCIA ソケット キーボート² 中盤 サウント²、ビディオ、およびケ²ームのコントローラ ホー型 システム デ³小²/ス ロー型 その他のデ³小²/ス ロー型 その他のデ³小²/ス ロー型 たんかしつことを
田・豊 ディスフ [*] レイ アダンダ 田・雪 ハード ディスク コントローラ 田・雪 フロッピー ディスク コントローラ 日・ジ ホート (COM & LPT) - ジ 通信ホート (COM1) 田・雪 モニター
フ [*] ロハ*ティ(R) 更新(E) 削除(E) 印刷(N)
閉じるキャンセル

ここから「ドライバの更新」を選択し通信ドライバを登録します。

RATOC-REX5056V RS232C PC Cardのプロパティ ?	×
「情報」「ドライハン」リソース」	
2	
製造元:	
日付:	
ハページョン: 情報なし	
このデバイスには、ドライハ゛ファイルが必要でないか、または読み込まれ ていません。	
ドライバ ファイルの詳細(の)	
 OK キャンセル	

デバイスドライバウィザードが起動したら、「**一覧からドライバを選ぶ**」を 指定し次へ進みます。



ドライバの一覧の中から「ポート(COM & LPT)」を選択し次へ進みます。

ምንባዊ ትንሱሶ ዕለታትቶ		
	下の一覧からデバイスの種類を激え【次へ】を押	してくだおい。
	ネッパワーフ 7973 ハード ディスク エントローラ フアジタ フロ・ビーディスク エントローラ 読み 100000 & 1971 1370の後出されしたデバイス デクス	-
•	117779979 174 129-	×
	〈 戻る(B) ()次へ>	4+>t%

最後に、ハードウェアの製造元とモデルを選択します。ハードウェアの製造 元は「**スタンダードポート**」、モデルは「**通信ポート**」を選択し完了します。

デバイストラ	*ライハ* ウィザキート*	-
\diamond	ハートウェアの製造元とモデルを選び、 [完了] を夘ッケ トライハガバインストールされます。	するとそのハートウェア用の更新された
	自動的に更新されたドライバを検出する場合は、[]	戻る] を押してください。
製造元((スタ)が-	E(<u>M</u>): モデル(D): 「FCP フリンタホット	
Hewlett	tt Packard フリックボート 通信ホート	
	< 戻る(旦)	完了 ++)セル

【3】インストール内容の確認

コントロールパネルのシステムの中のデバイスマネージャタグを開きます。 ドライバのインストールが正常に行われると、その他のデバイスとして登録さ れていた REX5056V RS232C PC Card が削除され、ポート(COM & LPT)の中に新し い通信ポートが追加されます。

	525400710757	? ×
	情報 デバイスマネージャ ハートウェア環境 ハフォーマンス	
	○ 種類別に表示(①) ○ 接続別に表示(②)	
	 田・健 キーボート' 田 観 サウント'、ビデオ、およびが〜ムのエン・ローラ 田 観 ウステム デッパイス 田 愛 その他のデッパイス 田 愛 ディスクトン・ゲッイブ 田 夏 ディスクトン・ゲッイブ 田 夏 ディスフレイ アタフラ 田 長 ホート' ディスク エットローラ 	
画面では、「COM3」となっ ておりますが、お客様の環 境により COMx の x の数字 が異なりますのでご注意	B→G 70+X ⁺ - デイスク エ/40-5 B→J オ× ⁺ + (COM & LPT) - J オ× ⁺ + (COM & LPT) - J - 岐の赤外線別7% ボート (COM2) - J 通信ボート (COM3) B→D 70ス B→D 70ス B→D 70ス	•
くにさい。 (確認方法は、Page2-21 をご参照ください) 	プロパラペ医) 更新(空) 和原設(空) ED場(役) OK キャンセ	

最後に、新しく追加された通信ポートのプロパティの中のリソースタグを開 いて、他のデバイスとリソースが競合していないことを確認してください。

通信ボート (COM3)の7日	N77	? ×
備職 木一トの設定	F568 99-2	
	(COM3)	
リソースの(設定(回):		
リソースの種類	設定	
I/O おートアトルス	03E8 - 03EF	- 11
IRQ	11	- 11
		- 1
国家の登録者目	基本設定 0008	Ψ.
論定の変更に	「「自動設定の」	
競合するデバイス:		
競合なし		<i>(</i> +
		× 1
,		_
	ОК	4+>101

■ Windows95 OSR-2 以前のバージョンでのインストール方法

【1】PC カードの挿入

カードを挿入すると、ハードウェアウィザードが起動します。「**一覧から選** ぶ」を選択し次へ進みます。

新し、w=ドウェア ?	x
RATOC -REX5056V RS232C PC Card	
新しいハードウェア用こインストールするドライハを選択してください。	
C Windows 標準の上ライバッション	
○ ハートウェアの製造元が提供するトライパ(M)	
☞ 一覧力応運ぶ(5)	
○ トライバを作えトールしない(Q)	
ок <u>ร</u> еуди (Н)	

インストールするハードウェア種類の中から「**ポート(COM / LPT)**」を選択し 次へ進みます。

∩−ドウ±アの種類の違択	×
インストールするハートウェアの種類を選んでください。	
ネットワーク アタウフタ ハート・ディスク エントローラ	•
7.9.75 7日光 ー ディスク エントローラ ボート (COM / LPT)	
lまかの検出されたデバイス マウス	1
1777/07979 1724 129-	•
OK 462th	

最後に、ハードウェアの製造元とモデルを選択します。ハードウェアの製造 元は「**スタンダードポート**」、モデルは「**通信ポート**」を選択し完了します。

デバイスの選択	×
小ト・ウェアと一部 さし、母子はか デがイスのインスト さし、	rするボート(COM / LP1)を勿っかして、[OK】を押してくだ わからないときは、[OK]を押してください。この ール ディスクをお持ちの場合は、[ディスク使用]を押してくだ
製造元(4):	ξ7°[μ([]):
(29)/5'~-1' #'~-1)	ECP 7'939 8'-1
Hevlett Packard	7'929 #'-h
	通信有"一下
	疗1425使用0:0
	OK tejel

【2】インストール内容の確認

コントロールパネルのシステムを開き、デバイスマネージャのタグを選択し ます。ポート(COM / LPT)に、新しい通信ポートが追加されているか確認しま す。

22940711/74 🙎 🗙	
16福 デ ¹ /v ² /3, 7 ² / ² / ² / ² ハートウェア環境 ハウォーマンス (* 種類的に表示(2) (*) 接続的に表示(2) ● エビビュータ (*) 日 日 (*) 日 日 (*) 日	— 本体の COM1 ポートは 使用中の設定になっ ていて、本体の COM2
Image: Conclus 7997 Image: Conclus 7997	ボートは使用中の設 定をはずしてありま す。
 ※ S / - * * * * (27 2) +0 - ? ※ S / 10 + * * * (27 2) +0 - ? ※ S * - + (COM / LPT) - ※ ECP 7 ½ / 1 * - + (PT1) - ※ 通信本* - + (COME) 	— RS232C カードが COM2 に割り当てられていま す。
	画面では、「COM2」となっ ておりますが、お客様の環 境により COMx の x の数字
	が異なりますのでご注意 ください。
	(確認万法は、Page2-21をご参照ください)

新しく追加された通信ポート(上記の例ではCOM2)のプロパティを調べます。 リソースのタグを開いて、他のデバイスとリソースの競合が起こっていなけれ ば正常です。

通信ボート (COM2)のプロバティ	? ×
情報 本-トの設定 ドラ(パ リソース	
通信本' (COM2)	
9%-2の銀空(B): リケー2の銀貨(B):	— I
100 5-77177 02FF 1RO 03	
R定の登録名(2) 基本課定 0002	¥.
(論定の実売(p). F 自動設定(p)	
競合するデバイス:	
朝合なし	~
	×
ОК 1 1	:>1011

(2-2) PC-98 での Windows95 セットアップ

本 PC カードは、連続した 8 バイトの I/O アドレス空間と1本の割り込みラインのリソースを必要とします。下記システムプロパティの例は、PC-9821 Lavie/Nr15 のものです。この機種では、全ての割り込みラインが既に他のデバイスに割り当てられていますので本PCカードをインストールする前に使用していないデバイスを無効にする必要があります。



m Windows95 OSR-2 でのインストール方法

【1】PC カードの挿入

PC カードをスロットに挿入すると、ハードウェアウィザードが起動します。 これに連動してデバイスドライバーウィザードが起動しドライバーのインスト ールをすることになりますが、ここではインストールすることができません。 とりあえず「次へ」を選択します。

デバイス ドライバ ウィザード	
	このウィザードで、 次のインストールができます。 RATOC-REX5056V RS232C PC Card 最新のドライハをローカル ドライア、ネットワークおよびインターネットから検 出します。 このデバイスに付属のフロッピー ディスクまたは CD-ROM がある場合 は挿入してください。 更新されたドライハを自動的に検出することをお勧めします。 [次 へ] を列ックすると自動検出が始まります。
	〈 戻る(日) (次へ) キャンセル

更に、「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」という結果が表示されますが、ここではインストールしませんので「完了」を選択します。

ቻንባዊ ትንብዮ ሳለታትቶ	
	このデベイス用のドライハが見つかりませんでした。 ドライバをここでインストーし、ない場合は、「売了」をつけします。 自 分でドライバを検索する場合は、「場所の指定」を分りします。 自 動検索を始めるには、「戻る」を押してくたさい。
•	場際の指定(g)
	〈 戻る(8) 第7 4+2世紀

【2】通信ドライバのインストール

コントロールパネルのシステムの中のデバイスマネージャタグを開きます。 その他のデバイスとして登録された「RATOC-REX5056V RS232C PC Card」のプロ パティを表示します。

ንአታፈወታ ከለዥ
情報 デバイスマネージャ ハートウェア環境 ハフォーマンス
○ 種類明に表示① ○ 抽読別に表示②
 → 12ℓ'a-9 ▶ POMCIA '979^k ● 2 キーボード ● 3 システム デパイス ● 2 その他のデパイス ● 2 POMCIA Card Services ● 2 POMCIA Card Services ● 2 F'(X2) 1/2 - F'(X2) 1/2 - 5 ● 3 アット* デ'(X2) 1/2 - 5 ● 3 アッス
7 D/174B) 更新(E) 削除(E) 印刷(N)
OK +tyen

ここから「ドライバの更新」を選択し通信ドライバを登録します。



デバイスドライバウィザードが起動したら、「**一覧からドライバを選ぶ**」を 指定し次へ進みます。



ドライバの一覧の中から「ポート(COM と LPT)」を選択し次へ進みます。



最後に、ハードウェアの製造元とモデルを選択します。ハードウェアの製造 元は「NEC」、モデルは「第2通信ポートサポート 115.2Kbps」を選択し完了し ます。

〇〇 ハートウェアの第 トライムがインス 自動的に更加	油元とモア゙ルを描ひ、〔完了〕を炒っウするとそのハードウェア用の更新された トールされます。 はれたどうイバを検出する場合は、「戻る」を押してください。
製造元1999. NEC Corporation	モデル400: 「フリンス本~ト(PC-9801-94) 拉注:設定本~ト(PC-9801-101) 拉注:設定本~ト(PC-9801-101) 拉注:設定本~ト(PC-9801-101) 拉注:設定本~ト(PC-9801-101) 超注:本~ト 作志~ト 115.200ps 通信本~ト 作志~ト 115.200ps 通信本~ト 作志~ト 115.200ps 通信本~ト 下志~ト 115.200ps 更
	〈 戻る(B) 完了 4+2106

【3】インストール内容の確認

コントロールパネルのシステムの中のデバイスマネージャタグを開きます。 ドライバのインストールが正常に行われると、その他のデバイスとして登録された REX5056V RS232C PC Card が削除され、ポート(COM と LPT)の中に「第2通信ポートサポート 115.2Kbps」が追加されます。



最後に、新しく追加された通信ポートのプロパティの中のリソースタグを開いて、他のデバイスとリソースが競合していないことを確認してください。

第2 通信ボート サポート 115.2Kbps (COMB)の7日パティ	? ×
情報 本ートの設定 ドライバ リソース	
第 2 通信本"	
リソースの設定(空)	
97-2の種類 設定	
IRQ 05	
- 同定の登録:各位)	×
NGの安定(2). F 自動設定(2)	
韓合するデバイス・	
語合なし	-
	v.
OK	和此

■ Windows95 OSR-2 以前のバージョンでのインストール方法

【1】PC カードの挿入

カードを挿入すると、ハードウェアウィザードが起動します。「**一覧から選** ぶ」を選択し次へ進みます。

ñU, νν−kウz7 ?Х
RATOC -REX5056V RS232C PC Card
新ししいードウェア用にインストールするトライハを選択してください。
C Windows 標準の下う(形型)
○ ハードウェアの製造元が提供するドライバ(M)
で一覧から運ぶ(5)
● ドライバを行えたールしない(Q)
ок <u>4+7/til</u> /\/7/t <u>H</u>)

インストールするハードウェア種類の中から「**ポート(COM / LPT)**」を選択し次 へ進みます。

ハードウェアの種類の選択	ĸ
インストールするハートウェアの種類を選んでください:	
キットワーク アダブラ ハート・ディスク エントローラ	
792/2 7ロナビー ディスクコントローラ	
lまかの検出されたデルイス マウス	
マルチ ファンウシュン アダフラ モデム モーター	
OK \$67/81	

最後に、デバイスを選択します。モデルは「**第2通信ポート** 115.2Kbps サポ ート」を選択し完了します。

PC/AT 標準の 8250 互換 シリアルコントローラ をサポートしたドライ バがセットアップされ ます。

7	0
	デバイスの選択
	かト*ウェアと一致するお*+ (com / LPT) 参別のして、[OK] を押してください。 お***がわからないときは、[OK] を押してください。このデが*73のインスト*** ディングをお持ちの場合は、「ディング使用」を押してください。
	#%U:
	7*ሃንን \$*~ት PC-9801-94
	第 2 通信#"小 115.2Weper 拜"小
	·通·(富+*
)豊富市"-ト 115/2Kbps 5市"-ト
	18186 ** 19200bps 56 **
	疗*43为使用心
	0K #+j/dj

コントロールパネルのシステムを開き、デバイスマネージャのタグを選択し ます。ポート(COM / LPT)に、「第2通信ポート115.2Kbps サポート」が追加され ているか確認します。



新しく追加された「第2通信ポート115.2Kbpsサポート」(上記の例ではCOM2) のプロパティを調べます。リソースのタグを開いて、他のデバイスとリソース の競合が起こっていなければ正常です。

第2 通信ボート1152Kbps サポート (COM2)の)7日パティ	? ×
情報 本ートの設定 ドライパ リソース	
第2 通信本 ¹ -ト1152Kbps 58 ¹ -ト (COM2) リソースの設定(E):	
<u>リソースの種類</u> 100 <u>ポートアドルス</u> 11FQ 06	
(秋田の登録:各位) 基本設定 0005	2
「日本の太正の」、 「「自動設定し」	
輪合するデバイス:	
離合なし	*
	×
OK 4	1.191

(2-3) Windows98 セットアップ

m Windows98 でのインストール方法

【1】PC カードの挿入

PC カードをスロットに 挿入すると、ハードウェ アウィザードが起動し右 のデバイスドライバーウ ィザードのインストール が表示されます。ここで は、「次へ」を押します。



ドライバの検索方法は 「特定の場所にあるすべ てのドライバの一覧を作 成し、インストールする ドライバを選択する。」 を選択し、「次へ」を押 します。

新していードウェアの適加ウィザー	۶
	検索方法を選択してくささい。
	○ 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(経現)
	○ 特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを増加する
8.2	
1	
~	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	〈戻る但〉 次へ〉 キャンセル

デバイスの種類は「**ポ** ート(COM / LPT)」を選択 し、「次へ」を押します。

新しんマハードウェアの適加ウィザー	\$
	下の一覧からデバイスの種類を選び、じまへ」をクリックしてください。
	ネットワーク アダプタ ハード ディスク エントローラ ヒューマン インターフェイス デバイス ブリンタ フロッピー ディスク エントローラ マロッピー ディスク エントローラ
	なりため出さいとデナリカス マクス マルチファンクション アダプタ メモリ テクノロジー ドライバ (MTD)
	〈 戻る(目〉 (次へ) キャンゼル

【2】ドライバーファイル場所の指定

モデルの選択では PC-AT 互換機 (NEC PC-98NX シリーズを含む)の場合と、 NEC PC-9821 シリーズの場合で選択内容が異なりますのでご注意願います。

▶ PC-AT の場合
 製造元に「(標準ポート)」、モデルに「通信ポート」を選択し、次にを
 押します。

新していードウェアの油加ウィザード
パードウェアの表現最近とモデルを提択して(され、ディスカご更新されたドライバがある場合 は、「ディスクの使用」をクリックします。更新されたドライバをインストールするには、じたべ」をク リックしてください。
製造元値か
ディスク使用化し
〈戻る伯〉 次へ〉 キャンセル

NEC PC-98 の場合
 製造元に「NEC」、モデル
 に「第2通信ポートサポ
 ート 115.2Kbps」を選択
 し、次にを押します。

新したマハードウェアの追加ウィザード	
	「ルを選択して(され)」、ディスクに更新されたドライバがある場合 ラクします。更新されたドライバをインストールするには、じたく」をク
製造元回知	モデル(取)
AWA B.U.G. Media Intelligent Corp. MIDORI ELECTRONICS	プリンタポート (Bbit Parallel Interface) プリンタポート (Bbit Parallel Interface) プリンタポート (Bc)-9801-940 記録通信ホート (PC-9801-101) 記録通信ホート (PC-9861K) 読録通信ホート (PC-9861K) 読録通信ホート 提信ポート (サポート 115.2%bps
	ディスク使用モジー
	〈戻る国〉 次へ〉 キャンセル

ドライバ更新の警告 メッセージに対しては、 「はい」を押して次に進 みます。

インストール準備が完 了したら、「**次へ**」を押 します。

的优更	Mułłała 🛛 🗖
⚠	このドライバは、環境したハードウェア用に設計されていない可能性があり、インストールしても正しく動作しない場合があり ます。このドライバを使用しますが?
	and <u>create</u>

はのデバイス用のドライバ、ファイルを検索します。: 通信ボート このデバイス用に選択したドライバをインストールでも準備ができまし このデバイス用に選択したドライバをインストールでも準備ができまし このデバイス用に選択したドライバを使っていた。 たうイバのある場例: CVWMINRESEVINFVMSPORTSINF CVWMINRESEVINFVMSPORTSINF
〈 戻る(図) (沈へ >) キャンセル

インストール完了が表 示されたら、「**完了**」を押 してハードウェアウィザ ードを終了します。



【3】PC カード設定内容の確認

コントロールパネルのシステムを起動し、デバイスマネージャを選択します。 カードの設定が正常に行われていれば、コンピュータのレジストリツリー「ポ ート(COM/LPT)」の下に「通信ポート(COM2)」が登録されます。「通信ポート (COM1)」は、使用したパソコン本体の標準 COM ポートになります。COM ポート が無いパソコンの場合、REX-5056V は COM1 として追加されますのでご注意願い ます。

プロパティのリソースタグを選択して I/O ポートアドレスおよび IRQ の割り 当てで競合していないことを確認してください。

画面では、「COM2」となっておりますが、お客様の環境により COMx の x の数字が異なりますのでご注意ください。(確認方法は、Page2-21 をご参照ください)

	通信ボート (COM2X0プロパティ	? ×
uter arialie -	金粮 ポートの設定 ドライバ リソース	
2メチェロリュレトラマ 全般 デバイス マネージャ ハードウェア ブロファイル	>> 通信未-ト (COM2)	
○ 種類別に表示① ○ 指統別にお	▶ 自動設定を使う000	
ユンビュータ 8		<u>v</u>
田 • ● PCMCIA socket 田 • 健 キーボード 中 • ■ • シュテト デバイス	リソースの種類 設定 1/0 の NEE 02F8 - 02FF	
日日 ディスクドライブ 日日 ディスクドライブ 日日 男 ディスプレイ アダプタ	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	
主要ネットワークアダブタ まつ、ハード ディスクエントローラ コード、ディスクエントローラ	R注の定正(2).	
B-3 7090- 7429 1010-9 B-3 #-+ COM / LPT)	競合するデバイス: 原うなたちのキャイ	
- ダ フリンタホート (LPTI) - ダ 油信ボート (COM1) - ダ 通信ボート (COM2)	第二日はのソチビル。	~
		2
ブロバティ(8) 更新(6) i	OK	キャンセル
	OK キャンセル	

(2-4) WindowsMe セットアップ

WindowsMe でのインストール方法

【1】PC カードの挿入

PC カードをスロットに 挿入すると、新しいハー ドウェアの追加ウィザー ドが起動し、右のデバイ スドライバーウィザード のインストールが表示さ れます。

ここでは「**ドライバの** 場所を指定する(詳しい 知識のある方向け)」に チェックを入れ「次へ」 を押します。

ドライバの検索方法は 「特定の場所にあるすべ てのドライバの一覧を表 示し、インストールする ドライバを選択する」を 選択し、「次へ」を押し ます。





デバイスの種類から 「**ポート(COMとLPT)**」を 選択し、「次へ」を押し ます。

	下の一覧からデバイスの種類を選択し、じたへ」をクリックしてください。
	ディスプレイ アダプタ ネットワーク アダプタ ハード ディスク エントローラ ヒューマン インターフェイス デアドイス プロンタ フロンピー ディスク エントローラ たままま 2012年 1110
*	はかした#出されしてナハイス マウス マルチファンクション アダプタ

【2】ドライバーファイル場所の指定

モデルの選択では、 製造元:「**(標準ポート)**」 モデル:「**通信ポート**」 を選択し、「次へ」を押 します。

新していードウェアの適切ウィザード	
プロードウェアの要請売ともも 「ティンクの任何」をクリックの リックしていたさい。	デルを選択してください。ディスケン運動されたドライノはある場合は、 してください。運動されたドライノをインストールするには、DKへJをク
製造元例: 日本版代一日 日本版代 日本版 日本版 日本版 日本版 日本版 日本版 日本版 日本版	モデル(Q): ECP プリンタポート プリンタポート 通道第一手
	ディスク使用(出)。
	(夏が回) 次へ) キャンセル

ドライバ更新の警告メ ッセージに対しては、 「はい」を押して次に進 みます。



デバイス用のドライバ ファイルの検索:で、右の ように表示されますので 「**次へ**」を押します。

新しんマハードウェアの過加ウィザート	F
	デバイス用のドライバ ファイルの検索: 通信ボート このデバイス用に変択したドライバ後インストールする準備ができまし た。別のドライバを提取する場合は、(戻る) をクリックしてくださく、続け るには、じたべ」をグリックしてください。 ドライバのある場所: ここの CAWENDOWSWINFYMSPORTS.INF
	〈 戻る(臣〉 二次へ 〉 キャンセル

インストール完了が表示されたら、「**完了**」を押してハードウェアウィザードを終了します。



【3】PC カード設定内容の確認

コントロールパネルのシステムを起動し、デバイスマネージャを選択します。 カードの設定が正常に行われていれば、コンピュータのレジストリツリー「ポ ート(COM/LPT)」の下に「通信ポート(COM x)」が登録されます。

プロパティのリソースタグを選択して I/O ポートアドレスおよび IRQ の割り 当てで競合していないことを確認してください。

画面では、「COM1」となっておりますが、お客様の環境により COMx の x の数字が異なりますのでご注意ください。(確認方法は、Page2-21 をご参照ください)

	通信ボート (COM1X0プロパライ	? X
	全岐 オートの設定 ドライバ リソース	
	③ 通信ボート (COMT)	
システムのプロパティ	2	
全般 デバイスマネージャ ハードウェア プロファイル パフォ		
	基本原定 0000	v
· 種類的以表示() · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	リソースの種類 設定	
= 1/21-9 R⊗ CD-ROM	100 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	
PCMCIA איז		
B ≪ SOSI 1)/10-5	REOREO.	
■ 4 サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ	読会するデバイス:	
申書 システム デバイス	騒合は水りません。	*
ローヨーディスクトライノ ローヨーディスプレイ アダプタ		
E = # ネットワーク アダプタ		-
8-6 70-1 7727 1740-5		widen.
- J #		470/
- J 通信ボート (COM1)		
18.7 432	<u> </u>	
プロパティ(B) 更新(E) 前録(E)) EII酚(例)_	
	OK キャンセル	

(2-5) RS232C PC カードの動作確認

RS232C PC カードに外付けモデムを接続し、Windows95/98/Me 添付のアクセサ リ通信ソフト「ハイパーターミナル」により通信テストを行います。

「ハイパーターミナル」を起動し、電話番号設定項目の接続方法を REX-5056V に割当てられた通信ポート「ComX(X=数字)へダイレクト」を指定します。

rex5056 のブロバティ		? ×
電話番号 設定		
🧞 na:5056	「イシの変更印」	
国参考(2):		
長距離のファフィック 市外局番(E):	260 で市外内番を入力してくころい。	
電話番号(E);		
指 続方法0 <u>0</u> :	Con 3 ~////카	
	モデムの設定(E)	
■ 国番号と市外	后垂至使为少	
	ОК 4+	Her .

🏶 rex5056 - ハイパー ターミナル			- 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 辿	创言(<u>C</u>) 転送(T)	Λμ7"(<u>H</u>)	<u>0</u>
<u> </u>	<u> </u>		
AT¥S OMRON ME2814B			_
DTE SPEED MODEM SPEED DATA FORMAT LAST_DIAL FIXED DTE SPEED CCITT/BELL DIALING MODE AUTO ANS. COMMAND ECHO RESULT CODE MODIFY CONNECT MSG. CONNECT MSG. SPEAKER ABORT TIMER BREAK CONTROL AUTO RETRAIN MNP V42	AT AT ATD AT¥JO ATB2 ATP SO=1 ATE1 ATQO AT¥V2 ATX3 ATM1 S26=0 AT¥K5 AT%E1 AT¥N3 AT&M5	9600 28800 8 N CCITT ORG/ANS A ROT1 ON ON ON REL-C 3 1 OFF 5 ON AUTO RELIABLE AUTO RELIABLE	UTO
Please Type Any Key!			
		Icopoul Leves During	
接続 0:00:42 自動検出	9600 8-N-1	SCROLL CAPS NUM	141

AT コマンドを入力しコマンドおよびリザルトコードがエコーバックされてくれば動作は正常です。

(2-6) アンインストール方法

まず、現在ご使用されている REX-5056V がどの COM x ポート(x=数字)に割当 てられているか確認します。

Windows 起動画面の右下の「PC カード(PCMCIA)の状態」アイコンをダブルク リックします。(以下の画面参照)



コントロールパネルのシステムを起動します。「システムのプロパティ」の デバイスマネージャタブを選択し、その一覧より、ポート(COM / LPT)の 上記で確認した通信ポート(ここでは COM2)を選択し、「**削除**」ボタンを押し ます。デバイス削除の確認で「**OK**」ボタンをします。(以下の画面参照)



以上で、アンインストール完了ですので、パソコンを再起動してください。

上記は、Windows98 の画面で解説しておりますので、Windows95/Me では若干表示 部分等が異なりますが基本的な操作は同じです。

(詳細は Windows のマニュアルをご参照願います)

(2-7) Visual C/C++サンプルプログラム

Win32 通信 API を使った RS232C 通信サンプルプログラム Win32Com.c が、製品添付 FD にありますので参考にしてください。

サンプルプログラムを動かす為には 2 台のパソコンを用意し RS232C クロスケーブ ルで接続します。一方のパソコンで本サンプルプログラムを、他方のパソコンでは、本 プログラムもしくはハイパーターミナルといった通信ソフトを起動し通信を行います。

サンプルプログラムは内容が複雑にならないように、単純に指定の ASCII 文字列を 送信し、受信イベントが発生したらデータを取り込んで表示するというものです。

▶ サンプルプログラム画面	┣┣ Win32通信ブ	ログラムサンプル	
	送信データ		終了
		123ABC	
	受信产生物	A	受信開始

▶ サンプルプログラム抜粋

LRESULT CALLBACK WndProc(HWND hWnd, UINT uMessage, WPARAM wParam, LPARAM IParam)	
{	
switch (uMessage)	
{	
case WM_CREATE :	
/* COM1 ポートオープン */	
hCom1 = CreateFile(lpszCom1Name, /* シリアルポート論理名 */	
GENERIC_READ GENERIC_WRITE, /* リート ライト可 */	
0, /* デバイス共有不可 */	
NULL,	
OPEN_EXISTING,	
0, NULL);	
if (hCom1 == INVALID_HANDLE_VALUE) {	
/* NVF NIF- */	
MessageBox(NULL, "COM1 オーブンエラー", MsgTitle, MB_OK);	
return FALSE;	
}	
/* 現在の設定情報取得 */	
<pre>Irc = sizeof(COMMCONFIG);</pre>	
GetCommConfig(hCom1, &cc, &lrc);	
/* 通信/ ラメー9設定9 1707 表示 */	
if (!CommConfigDialog(lpszCom1Name, hWnd, &cc))	
Diedk, /* 新たに通信In°ちしめた設定する */	
/ 新心にに通信/ バークを改定する / if / LeatCommState/ bCom1 too dob))	
, roturn TDIE ·	
/* 次百に結く */	

```
case WM_COMMAND:
            switch( wParam )
           {
             case IDB_TXDATA:
                 /* 送信データ取得 */
                 memset( TxBuf, 0x00, sizeof( TxBuf ) );
                 GetDIgItemText( hWnd, IDE_TXDATA, TxBuf, sizeof(TxBuf) );
                 SetDIgItemText( hWnd, IDS_TXDATA, TxBuf );
                 SetDIgItemText( hWnd, IDE_TXDATA, "" );
                 nToWrite = strlen(TxBuf);
                 /* COM ポートにデータ送信 */
                 if (!WriteFile( hCom1, TxBuf, nToWrite, &nActualWrite, NULL))
                 {
                     MessageBox( NULL, "送信Iラ-", MsgTitle, MB_OK ); /* 送信Iラ- */
                 }
                 break;
            case IDB_RXDATA:
                 /* 受信スレッドを作成します */
                 fReadThread = TRUE;
                 hThread = CreateThread( NULL,
                              0,
                              (LPTHREAD START ROUTINE)ReadThread,
                              hWnd,
                                                                /* スレッドに渡すパラメータ */
                              0,
                              &ThreadId);
                 if ( hThread == INVALID_HANDLE_VALUE) {
                     MessageBox(NULL, "受信ルット クリエートエラー", MsgTitle, MB_OK);
                 }
                 break;
            case IDCANCEL:
                 /* 受信スレッドを終了する */
                 fReadThread = FALSE;
                 /* COM1 x° - トクロース */
                 CloseHandle( hCom1 );
                 PostQuitMessage( 0 );
                 break;
            default:
                 return DefWindowProc(hWnd, uMessage, wParam, IParam);
           }
           break;
       case WM_DESTROY:
            /* 受信スレッドを終了する */
            fReadThread = FALSE;
             /* COM1 x° - トクロース */
            CloseHandle( hCom1 );
           PostQuitMessage(0);
           break;
       default:
           return DefWindowProc(hWnd, uMessage, wParam, IParam);
   }
   return 0;
}
/* 次頁に続く */
```

```
DWORD ReadThread( HWND hWnd )
{
            RxBuf[256];
    BYTE
    DWORD
            nBytesRead, dwEvent, dwError;
    COMSTAT cs;
    LONG
            Irc;
    /* バイトデータ受信時 WaitCommEvent()に対しイベントを発生する */
    SetCommMask( hCom1, EV_RXCHAR );
    /* バイト受信イベントを待って受信データを取り出し格納 */
    while( fReadThread )
    {
        /* イベントを待つ */
       if (WaitCommEvent( hCom1, &dwEvent, NULL ) )
        {
            /* 有効データを全て読み出す */
            ClearCommError( hCom1, &dwError, &cs );
            if ( ( dwEvent & EV_RXCHAR ) && cs.cbInQue )
            {
                if ( !ReadFile( hCom1, RxBuf, cs.cblnQue, &nBytesRead, NULL ) )
                {
                    MessageBox( NULL, "通信Iラ-", MsgTitle, MB_OK ); /* 受信Iラ-*/
                }
                else
                {
                    /* 受信データ表示 */
                    SetDIgItemText( hWnd, IDS_RXDATA, RxBuf );
                }
            }
        }
        else
        {
            MessageBox( NULL, "通信Iラ-", MsgTitle, MB_OK );
        }
    }
    /* 受信バッファのデータをクリアする */
    PurgeComm( hCom1, PURGE_RXCLEAR );
    return OL;
}
```

第3章 Windows2000/XPセットアップ

この章では Windows2000 および WindowsXP での REX-5056V セットアップについて解説しております。

下記画面は Windows2000 (5.00.2195)を搭載した PC-AT 互換機でのインストー ル画面になります。

(3-1) Windows2000 セットアップ

Windows2000 でのインストール方法

PC カードを挿入すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動し、インストールが開始しますので、以下の手順でインストールを行って下さい。

「新しいハードウェアの検 索ウィザードの開始」で 「**次へ(<u>N</u>)>」</mark>ボタンを押しま す。**



右図画面でデバイス名に、

「RATOC REX5056V_RS232C_PC _Card」と正しく表示されてい るかを確認してください。 次に、検索方法の選択で、「こ のデバイスの既知のドライバ を表示して、その一覧から選 択する(<u>D</u>)」にチェックを入れ て「次へ(<u>N</u>)>」ボタンを押し ます。

「ハードウェアの種類」の 一覧より「**ポート**(COM と LPT)」を選択し「次へ(<u>N</u>)」 ボタンを押します。



30

「デバイスドライバの選 択」では、 製造元(<u>M</u>)「**(標準ポート)**」 モデル(<u>D</u>)「**通信ポート**」 を選択し「次へ(<u>N</u>)」ボタ ンを押します。

教は、いっードウェアの検出ウィザード	
デバイス ドライバの運動 このデバイスには、どのドライバルイ	DAH-#68#09
ハードウェア デパト(2019年) ハクがあた場合は、19702	モンモデルキ連邦化して「たべ」をクリックしてください。インストールギ&ドライバのデ 使用[をクリックしてください。 モデル(2) 「DOP フリック ボート フリック ボート パーウェン 5821281 フリック ボート パーウェン 5821281 フリック ボート パーウェン 5821281 マルチボート通信ボート 福祉協会会会
	ディスが使用とい
	〈 異び ② 次へ 図 > キャンセル

ひかい

1.061

的船

に互換性がない場合、バードウェアが ュージが下安定になったり、売全に動 インストールを除行しますか?

ドライバの更新警告が表 示されますが、続行するた め「**はい(<u>Y</u>)**」ボタンを押 してください。 ドライバの更新書

「デバイスドライバのイ ンストールの開始」で「通 信ポート」が表示されます ので、「次へ(<u>N</u>)」ボタ ンを押します。



「新しいハードウェアの 検索ウィザードの完了」で 「通信ポート」が表示され ます。 「**完了**」ボタンを押してく ださい。



以上で REX-5056V のインストールは終了です。

(3-2) WindowsXP セットアップ

WindowsXP でのインストール方法

PC カードを挿入すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動しますので、以下の手順でインストールを行って下さい。



インストールオフションの 選択では、「検索しないで、 インストールするドライバ を選択する(<u>D</u>)」にチェック を入れて、「次へ(<u>N</u>)>」ボ タンを押します。



「ハードウェアの種類」の 一覧より「**ポート(COM と** LPT)」を選択し「次へ(<u>N</u>)」 ボタンを押します。



「デバイスドライバの選 択」では、 製造元「**(標準ポート)」** モデル「**通信ポート**」を選 択し「次へ(<u>N</u>)」ボタンを 押します。

このハードウェアのためにインス	F-161	るデバイス ドライバを選択してください。	S
J 15008 2012 0	調査	千子に後確認して [広へ] をりかりしていきない。インストールするおう 町 をりかうしてくさだい。	H7507
Billitie Brother Chose Research Pla. Compact GSM Radio Cand Commol Corporation	< >	モデル 環 tCP カシッタ ポート 環 フリンタ ポート 環 フルチボート 酸 通道ボート	×
このドライバはデジタル署名が ドライバの署名が重要な現由	ntive	\$. <i>7.030</i> 0	8년
		< 展3/回 3km(吸) (km)	orten a

ドライバの更新警告が表 示されますが、続行するた め「はい(Y)」ボタンを押 してください。

「新しいハードウェアの 検索ウィザードの完了」で 「通信ポート」が表示され ます。

「**完了**」ボタンを押してく ださい。





以上で REX-5056V のインストールは終了です。

(3-3) 通信ポート番号の確認

Windows2000/XP で、PC スロットの状態を確認するには以下の手順で行って ください。

デスクトップ起動画面の右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」 アイコンをダブルクリックします。(以下の図参照)

₩indows2000 画面	
	jj LA 般 🗳 🗲 🛃 🕻 🛤 a
	4 : 1 :33
	ダブルクリック

以下の画面が表示されますので、「ハードウェアデバイス(<u>H</u>)」の「通信ポート(COMx)」を確認してください。

	🌽 ハードウェアの取り外し	? ×
	第10分すデバイスを選択して「停止」をかりかりしてください。取り外しの安全が確認さ らエンビュータがらデバイスを取り外してください。	nte
	ハードウェア デバイスほど	
	iantarr-⊩ (const)	
現在、通信ポート(COM3)	通信ボート (COM3) - PCCard スロット 0	
に割当てられています。	プロパラィ(空) (停止(空)	
	「 デバイス コンボーネントを表示する心)	
	マ タスク バーに (同的外し) アイコンを表示する の 回じる(Q) 回じる(Q)	

パソコン機種によって、COMx ポート(x=数字)の「×」が異なります。通常、 空いている順番に 1,2・・・に割り当てられますが、最近のパソコンでは、標準で 赤外線通信ポートや内臓モデムなどを実装しているため通信ポートを使用する ものが多くなっており、弊社 REX-5056V を導入した場合に COM5 または COM6 と表 示されることがありますが、リソースの競合が起こっていなければ、基本的に問 題はありません。

上記は、Windows2000の画面で解説しておりますので、WindowsXPでは若干表 示部分等が異なりますが基本的な操作は同じです。

(詳細はWindowsのマニュアルをご参照下さい。)

(3-4) PC カード設定内容の確認

コントロールパネルのシステムを起動します。「システムのプロパティ」の 「ハードウェア」タブから「デバイスマネージャ(D)」ボタンを押します。 「ポート(COM と LPT)」をクリックして新しくポートが追加されているのを 確認して下さい。

また、通信ポートの「プロパティ」でリソースが正しく割当てられているか を確認して下さい。デバイスの競合が発生した場合は「自動設定(U)」のチ ェックを外し、競合が起こらない値に設定を変更して下さい。



上図は、Windows2000の画面で解説しておりますので、WindowsXPでは若干表 示部分等が異なりますが基本的な操作は同じです。 (詳細はWindowsのマニュアルをご参照下さい。)

(3-5) COM ポート番号の変更

「通信ポート」の COM ポート番号を他の番号に割り当てる場合、変更する通信 ポートのプロパティを開き、「ポートの設定」タブの「詳細(<u>A</u>)」を選択して下さい。詳 細設定画面が起動しますので、画面下の「COM ポート番号(<u>P</u>)」で新しく設定する 番号を選択して下さい。(使用中)の COM 番号には設定しないで下さい。 下図では、COM2に割当てられている本体ポートを DISABLE にし、REX-5056V を COM2に割当てています。

	3月1日本	1 COM08070	U174		
	金胶	术一下的政定	F54K[UV=2]		
			Eyh/B(B)	28500	
DNO OURHAIRS		21	7-9 E91-0	8	-
ロ ちたつ ビッン・大学研究 ための ための いんたち 化と思いの			10740	tet.	-
接続19-6歳正するには、設定を小さしていたい。	l	OK	ストップ ビットの	1	-
パフォーマンスを上げるこは、設定を大きくしてください。	-	キャンセル	70-WWE	ねし	•
111/627/02: 係の」高	840 840 ⁻	AND CO.			
111/6-7×00: 低の」高	ຕຍ ຕຍ			第編(<u>A</u>)	既定値に戻す(8)
el ボート番号記: COM2 王					
				08	्र करन्त्र
\downarrow \downarrow					
5/1/2 77-9v					
」操作(2) 表示(2) ← → □ [2] [2] 3]	8 X				
B DVD/CD-ROM F9/7 DVD/CD-ROM F9/7					
B S DE ATRATAPI 1770-9 B S POMCIA 7979					
田 4월 USB (Universal Serial Bus) 그가요ㅋㅋ 由 4월 학ーボード					
★ ■ エノビュータ ★ ● サウィル ビデオ およびゲーム ゴル・ローラ					
B 3776 7147					
B B 7420 F247 B B 7427L4 7979		0	りに赤西		
主要 おりワーク アダプタ 来らみ フロッピー ディスク エントローク			12 に安史		
8 - 70x - 7125 1517					
E9 #~F (COM 2 LPT) 9 i∰(±#~F (COMT)					
※うつうたそのほかのポインティング デバイス					
8-2 t_9					

上図は、Windows2000の画面で解説しておりますので、WindowsXPでは若干表 示部分等が異なりますが基本的な操作は同じです。

(詳細はWindowsのマニュアルをご参照下さい。)

Page.3-8

(3-6) アンインストール方法

m Windows2000 でのアンインストール方法

コントロールパネルの システムを起動し、「ハー ドウェア」タブを選択しま す。

「ハードウェアウィザ ード(<u>H</u>)…」ボタンを押し てください。

システムのプロパティ	? ×
全般 ネットワーク 10 ハードウェア ユーザー フロファイル 詳細	
- ハードウェア ウィザード	
ハードウェアウィザードを使って、ハードウェアのインストール、アンインストー ル、単築体、酸塩、取の外し、および酸素ができます。	
ハードウェア ウィザードロニ	
デバイス マネージャ	51
デバイスマネージャは、エルビューダングストールされているすべてのハード ウェア デバイスを表示します。デバイスマネージャを使って、各デバイスのプ ロバティを変更できます。	
ドライバの署名(5)_ デバイスマネージャ(1)_	
- //- וילבד לם אין	
ハードウェアプロファイルを使うと、別のハードウェアの構成を設定し、格納 することができます。	
ハードウェア プロファイルビシー	
	1
OK ※中いセル 派用(5)	

「ハードウェアの追加 と削除ウィザードの開始」 を行いますので、 「**次へ(<u>N</u>)」**ボタンを押 します。



「ハードウェアに関す る作業の選択」で、「**デバ** イスの削除/取り外し(U)」 にチェックをいれ、 「次へ(N)」ボタンを押 します。



「削除操作の選択」で、 「**デバイスの削除(U)**」に チェックをいれ、 「次へ(<u>N</u>)」ボタンを押 します。

ハードウェアの次回知と思想はつけザード 副語社作の選択 デバイスモー時がはたは個々よりに消費用できます。	8
実行する素単純の操作を選択してじたく」を欠ったしてにされ、 (* ①1517.0万利用単位) デノバスとそのドライバを完全に利用するには、このオブションを選択します。 (* デノバスを一時的に取り分す、または取り出すには、このオブションを選択します。 デノバスを一時的に取り分す、または取り出すには、このオブションを選択します。	
< 開設(組) (法へ)(約) >	*Y)/101

「このコンピュータに インストールされている デバイス」で、一覧が表示 されますので「**通信ポート** (COMx)」を選択し、 「次へ(<u>N</u>)」ボタンを押 します。

画面では、「COM3」となって おりますが、お客様の環境に より COMx の x の数字が異な りますのでご注意ください。 (確認方法は、Page.3-5 を ご参照ください)



「デバイスの削除」で、 通信ポート(COMx)を確認 後、「はい、このデバイス を削除します(Y)」をチェ ックし、 「次へ(N)」ボタンを押 します。



「ハードウェアの追加 と削除ウィザードの完了」 で、「選択されたデバイス は正常に削除されまし た。」と表示されますので、 「完了」ボタンを押してく ださい。



以上で、REX-5056V のアンインストールは完了です。REX-5056V をスロット より抜きます。

再度、インストールされる場合はパソコンを再起動後、Page.3-1の Windows2000 でのインストール方法をご参照ください。 WindowsXP でのアンインストール方法

カードをスロットに挿入し、まず、現在ご使用されている REX-5056V がどの COMx ポート (x=数字) に割当てられているか確認します。

確認方法は Page.3-5 を参照してください。

次に、コントロールパネルのシステムを起動します。「ハードウェア」タブから「**デバイスマネージャ**」ボタンを押すと、デバイスマネージャが起動されます。一覧のポート(COM と LPT)より上記で確認した通信ポート(ここでは COM3)を選択し、メニューの「操作(A)」 「削除(U)」を選択します。デバイス削除の確認で「OK」ボタンをします。(以下の画面参照)



以上で、REX-5056Vのアンインストールは完了です。REX-5056Vをスロットより抜きます。

再度、インストールされる場合はパソコンを再起動後、Page.3-3の WindowsXP でのインストール方法をご参照ください。 (空白ページ)

第4章 WindowsNT4.0について

WindowsNT4.0 では PC カードの Plug&Play 機能がサポートされていませんのでカー ドリソース(I/O アドレス、IRQ 番号)の自動割当てが行われません。そのため、シス テムのリソースの空き状況によっては REX-5056V を使用できないことがあります。 赤外線ポート、内蔵モデムが搭載されているパソコンでは、使用しているしていない に関係なく COM ポートのリソースは専有されています。使用されていない場合は、 BIOS 設定で Disable にすることにより、COM ポートのリソースを解放し、REX-5056V で利用可能にすることができます。 (4-1) WindowsNT4.0 での使用方法

REX-5056V を WindowsNT4.0 で使用する場合、基本的にドライバのインストールは 必要ありません。REX-5056V を PC カードスロットに挿入してシステムを起動してくだ さい。

【1】カード情報、リソースの確認

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「PC カード(PCMCIA)」を開き、下記 項目をご確認ください。

- 1.「RATOC REX5056V RS232C PC Card」と認識されているか確認。
- 2. 「プロパティ」のカード情報タグでデバイスマップの COM 番号の割り当てを確認。(「利用不可」の場合は、【2】シリアルポートの追加を行ってください)。
- 3.「プロパティ」のリソースタグでリソースの割り当てを確認してください。

◆ はし - ンウット1	RATOC System,Inc. RE/5056V RS232C PC Card フロハディ	?
100500	カート"情報】トドライハ"」リソース	
1000000000000000000000000000000000000	RATOC REVENSE PC Card	
	デバイスの種類 ジリアル PC カート	
	製造元 RATOC System,Inc.	
	7°/1°/2 707". Com2	
	ティバイスの状態	
	デバイスは正常に動作しています。	

【2】シリアルポートの追加

「コントロールパネル」→「シリアルポート」でシリアルポートの追加を行ってください。 リソースの空きがない場合は新しいポートの追加ができない場合がありますのでご 注意ください。

		シリアルフ	<u>7°-</u> 1		×
		木*	<u>P</u>):		キャンセル
			2: 1:	<u>~</u>	設定(S)
新しいホートの詳細設定			×		<u>jem(4)</u>
COM ポートの番号(<u>c</u>);	2	-	OK		削除(<u>D</u>)
VO 木 [、] -ト アドレス(<u>B</u>):	02F8	•	キャンセル	v	<u>^ルプ(Ħ)</u>
割り込み番号 (IRQ)(():	3	•	∿147°0 <u>H</u> 0		
↓ FIFO を有効にする(E)					



(5-1) WindowsCE での使用方法

REX-5056VをWindowsCEで使用する場合、特別な設定方法はございません。PC Card スロットに REX-5056Vを挿入することによりOS 標準の通信ポートドライバが自動でロードされ使用可能になります。

【1】カードの挿入

REX-5056V を PC Card スロットに挿入すると、以下の画面が表示されますので、 ご使用環境にあわせ、「はい」または「いいえ」を選択してください。 ただし、AC 電源ご使用時には、下の画面は表示されず、自動認識されます。

PC カードの検出:スロット 1	
警告:PC カードを使用すると を使用する場合には、 なデータをあらかじめ このPC カードをバッ	:バッテリが消耗します。モデムカードなどの PC カード AC 電源が必要です。 [はい] を選択する場合は、必要 保存することをお勧めします。 テリで使用しますか?
は い	いいえ

以上の操作で、REX-5056Vを使用することができます。

注)上記画面は、NEC製 MobileGear での一例です。機種によっては 上記画面は表示されない場合がございますので、ご注意下さい。

【2】REX-5056Vの確認

「コントロールパネル」→「システム」を起動し、PC カードの表示部に

RATOC-REX5056V

と表示されているかを確認します。

(空白ページ)

発行 ラトックシステム株式会社 2002 年 12 月 1 日 第 3.0 版 第 1 刷発行

⑦ 製品に対するお問い合わせ

REX-5056V の技術的なご質問やご相談の窓口を用意しておりますのでご利用ください。



二 ご注意 △
 ○本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
 ○本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきになられましたらご連絡願います。
 ○マルチポートシリアル通信ドライバ MCD の著作権は、株式会社エー・ピー・ラボにあります。また、フリーウェア・雑誌等で配布されているオリジナル版とは異なります。本製品に添付されている MCD ドライバに関する不具合等の全ての責任は弊社にて対応致します。株式会社エー・ピー・ラボには一切の責任はありません。
 ○本製品および本製品添付のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商品または登録商標です。
 ○運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承願います。

す。